

助成金で取得後押し

交通エコロジ・モビリティ財団

交通エコロジ・モビリティ財団が認定する「グリーン経営認証」取得に助成制度を設けるト協が増加している。

助成額は2万—10万円と様々だが、通常、新規取得するには1事業所15万5000円かかるため、取得への大きな後押しになると期待されている。

同財団がまとめた「認証取得による効果の検討結果」（2008年度集計）によると、認証取得2年後の平均燃費は、認証取得時と比べて、車両総重量8トン以上のトラックが4.5%、8トン未満が4.4%それぞれ向上し、全国平均より25.3%良い水準となった。C

O2排出量の削減効果のほか、職場モラル・士気の向上、車両故障や交通事故件数の減少といった効果を評価する声も高い。経費節減が重要課題の運送業界で、これだけの改善効果は大きい。

「認証の取得を荷主や社会に評価して欲しい」と望む事業者は多い。最近では取得によって荷主からの評価が向上したという話もある。また、同財団交通環境対策部の反町泰雄課長は、「会社の意識改革に貢献するツール」として捉えることが重要」と説明する。

郵便事業会社も取得を前向きに検討しているという。

（松宮志暢）